

2019年度 勤務医 負担軽減計画表

部署名	項目	目標
看護局	【人材活用】 特定行為実践看護師の活用	介入件数
	【業務改善】 病状説明時の同席とフィードバック	病棟単位で評価
	【業務シェア】 説明業務を担う	入院準備が滞りなくおこなえる 安全な検査の実施
薬剤部	薬剤鑑別入力と持参薬オーダー入力の継続	翌日の昼服薬分までは病棟で対応してもらう
	病棟薬剤管理業務の充実	病棟薬剤管理業務の復活
	薬剤管理指導の充実	指導が必要な患者を入院時から早めに抽出する
	薬剤サマリ(薬剤総合評価票)の記載	必要な患者を抽出し、薬剤に関する総合評価票を記載する
リハビリテーションセンター	リハが必要な患者のオーダー漏れを軽減させるための働きかけ	病棟におけるオーダー漏れゼロ
	専門職としてリハからDrへの情報提供を行う	情報共有・チーム医療の推進
栄養管理室	医師が糖尿病患者の中で、透析予防の指導の必要性があると認めた患者に対して、透析予防を目的とした指導を行なう	継続して必要な患者に対し、適切な指導を行い、医師の指導負担を軽減する 患者の病態悪化を防ぎ、医師の治療を軽減する
	医師が食事療法の必要性を認めた患者に対して、栄養指導を行なう。また、指導の必要性を管理栄養士が感じた時は、医師に提言し指示を仰ぐ	必要な患者に対し、適切な指導を行い、医師の指導負担を軽減する 食事療法が必要と思われる患者を、速やかに主治医へフィードバックし、指示を受ける
	入院患者の栄養面での向上を目指し医師に提案していく	必要な患者に対し、適切な栄養管理を提案し、医師の栄養管理面での負担を軽減する
医療機器管理室	医療機器に関わる幅広いサポート (透析部門)	穿刺困難者を減らすためにエコーを積極的に使用していく→医師の穿刺負担を減らす
	医療機器に関わる幅広いサポート (内視鏡部門)	担当者全員が同じレベルで内視鏡検査助ができるように手技習得を目指す→医師の不安を解消する
画像診断センター	画像診断サポート	重要症例を連絡する「画像診断チェックシステム」をフルに活用する
		検査オーダー内容の確認を徹底する
		緊急検査(飛び入り検査)への迅速対応を継続する
		放射線科医に読影に専念してもらう 紹介医、紹介患者の都合に合わせて最適な予約時間の提供をする
		要望画像に加えて病状に応じての追加画像の作成
臨床検査室	採血や検査業務	業務の継続で診療をサポート:採血室・健診の技師中心の採血業務を継続し、サポート可能な業務を模索 血管造影室でのスタッフ対応の充実を図る
	データの迅速報告	医師が速やかに気付くべき異常値を技師から伝える
医療サービス課 DC	負担の係る医師への事務的補助強化	医師の勤務状況確認 聞き取り調査実施
	医師の評価	アンケート調査実施
人事部	医師の働き方改革	医師の連続勤務28時間制限の取組
		医師のインターバル9時間を確保する取組

2019年度 看護職員 負担軽減計画表

部署名	項目	目標
薬剤部	定期処方における週1回の配薬カートセットの継続	安定した配薬カートの運用
	持参薬の鑑別入力および配薬カートセットの継続	鑑別入力は翌日に行う
	病棟薬剤管理業務の充実	病棟薬剤管理業務の復活
	薬剤管理指導の充実	介入が必要な患者を入院時から早めの抽出
リハビリテーションセンター	リハ視点からの病棟支援	POCリハ等を通して患者の病棟ADLの質を向上させる
医療機器管理室	協働業務(透析部門)	技士でもできることは、サポートして業務を円滑に行う
	協働業務(内視鏡部門)	技士の幅広いサポート
	医療機器のサポート	医療機器が安全に使用できるようにサポートする
画像診断センター	検査業務	サポートできることを探して対応していく
臨床検査室	検体採取・検査時のサポート	業務の継続とサポート範囲の模索
	看護師の呼び出しを減らす	看護師の呼び出し件数を減らす
医療サービス課 病棟	病棟事務業務分担 急性期看護師事務補助登録	看護師事務的業務の負担軽減
人事部	働きやすい職場づくり	コミュニケーションUP